

令和4年4月19日

宝達志水町長 寶 達 典 久 様

宝達志水町立統合小学校校名選定懇話会
委員長

山下 茂

答申書

統合小学校の校名について、別紙のとおり答申いたします。

答申書

令和4年4月19日

宝達志水町立統合小学校校名選定懇話会

1 はじめに

押水第一小学校と宝達小学校と相見小学校がひとつになる小学校及び樋川小学校と志雄小学校がひとつになる小学校（以下「統合小学校」という）の校名候補を選定するにあたり、校名に大きな関心を持っている町民も多く、適正に検討するために、宝達志水町立統合小学校校名選定懇話会設置要綱に基づき、校名候補の検討を行うこととなった。

2 校名の視点

- ・ 町の未来を担う子どもたちが町に対する誇りを持ち、強く、心豊かに育つように願いが込められた校名であること。
- ・ 児童たちが明るく、仲良く、健やかに育てほしいとの願いが込められた校名であること。
- ・ わかりやすく、親しみやすい校名であること。

3 小学校統合準備委員会での校名検討内容

- (1) 第1回小学校統合準備委員会総務部会 令和3年9月29日
 - ・ 校名の募集方法の協議と校名を総務部会で10校に絞り込むことに決定。
- (2) 第2回小学校統合準備委員会総務部会 令和3年10月27日
 - ・ 統合小学校校名募集要項の確認と校名選定スケジュールの確認並びに統合小学校校名選定懇話会委員の決定。
- (3) 第5回小学校統合準備委員会総務部会 令和4年3月9日
 - ・ 校名候補の選考について、応募された校名案の中から、それぞれ10校に絞り込んだ。
- (4) 第5回小学校統合準備委員会 令和4年3月23日
 - ・ 小学校統合準備委員会として、それぞれ10校に絞り込んだことを承認。

4 校名候補選定の経過

第5回小学校統合準備委員会総務部会において、各委員に応募結果の中から、統合小学校の校名を1校ずつ発表してもらった結果と、応募数の多い校名候補を合わせて10校を小学校統合準備委員会での校名候補の決定とした。

校名選定懇話会では、小学校統合準備委員会で絞り込んだ結果をさらに検討、協議を行った結果、新しい時代を担う子どもたちにとっての新たな出発、船出ととらえ、そして教育的な観点から、対等な関係での統合、良好な人間関係の育成を目指すことを視点に協議を行った。

校名選定懇話会で選定した校名候補と理由については、次のとおりである。

| 候補 | 校名 | | 選定理由 |
|----|------------------------|-----------------------|--|
| | 押水地区 | 志雄地区 | |
| 1 | ほうだつみなみ 宝達南 (5票) | ほうだつきた 宝達北 (5票) | <ul style="list-style-type: none"> ・合併20年目を迎えることから一つの町として考えると宝達南と宝達北が良い。 ・2校がお互いに意識を持ちながら切磋琢磨していけるように。 ・町外から見ても分かりやすい。 |
| 2 | いずみ (2票) | さくら (4票) | <ul style="list-style-type: none"> ・ひらがな表記で親しみやすく、分かりやすい。 ・押の泉(おしのいずみ)、押水の由来から。 ・旧志雄町は桜の町として有名。 |
| 3 | おし みず 押 水 (2票) | し お 志 桜 (2票) | <ul style="list-style-type: none"> ・押水地区は、3校が統合し、新たに気持ちが一つになるように。 ・旧町名だから分かりやすい。 ・地域の歴史や愛着につながる。 ・志雄地区は、樋川小学校校章の桜を校名に反映することで、志雄小と樋川小の気持ちが一つになるように。 ・旧町名を残したい。 |

5 おわりに

本懇話会では、地域の皆様、小学校の児童の皆様の考えも参考にしながら、統合小学校の校名候補の検討を行った。各委員がそれぞれの立場から真剣に考え、活発に話し合う中で押水地区は「宝達南小学校」「いずみ小学校」「押水小学校」、志雄地区は「宝達北小学校」「さくら小学校」「志桜小学校」という校名を候補とすることで意見がまとまった。

令和7年3月31日をもって、町内の小学校は閉校となり、令和7年4月1日新たな統合小学校として開校するが、各校それぞれの歴史を尊重し、統合小学校に大切に引き継ぎ、発展を願うものである。